

FIP (国際薬剤師・薬学連合) ワークショップのご案内

日時：平成 26 年 6 月 23 日 (月) 18:30~20:30 場所：神奈川県薬剤師会

内容：「今後の薬剤師教育について～世界的視点から～」(通訳つき)

講師：Prf. Ian Bates ロンドン大学薬学部教授。ロンドン大学において薬学教育の教授、教育開発部門の責任者として活躍する一方、王立薬剤師会における教育に関する専門アドバイザー。さらには FIP において Education Development and network Coordinator の責任者を務めており、今の薬学・薬剤師教育の世界的リーダーの一人。

Dr. Andreia Bruno FIPed プロジェクトコーディネーター。FIP において Education Initiative, Development Team (FIPed) のプロジェクトコーディネーターとして、FIPed の中にある関連部門を統括する役割を果たしている。

ワークショップの状況・背景

教育と継続的なトレーニングは、公共医療の中核を担っている。今までの薬剤師教育は「サイエンス (基礎薬学)」と「実務 (薬学実務)」に二分された教育であった。しかし、私たち国際薬剤師・薬学連合 (FIP) の教育構想 (FIPED) はこの状況を打破し、二つの領域を統合・集約して、より具体的な方法を開発しなければならないと考えている。FIP では保険制度や医薬品の専門知識、社会的責任や共同作業を統合・集約する教育やトレーニングが今後の教育制度を変えるものであり、このワークショップによって薬剤師教育が発展し、より強固で素晴らしいものになると考えている。FIP と神奈川県薬剤師会が主催するこのワークショップは、新しい薬学教育を行うための基礎をつくるために必要な、コラボレーションや相互理解、目的や情報の共有などを用いた効果的なもので、参加者は世界的なテーマに沿って自身で考える機会を得ることができる。

ワークショップの内容

今回のワークショップでは次のテーマを今後の薬剤師教育における課題としてグループディスカッションする。

●ヘルスケアにおける垣根のない共同作業 ●より良い教育と実務の融合 ●薬学教育における社会的責任

	内容
18:30-18:40	ワークショップの進め方
1. 18:40-19:10 講演	世界における最近の薬学教育の現状を学ぶ
2. 19:10-19:30 討論	各グループがテーマに対する意見やアイデアをだし、カードに書き出しカードをグループ分けする。重要なキーワードを選び、それを実現するための方法もディスカッションする。
3. 19:30-19:50 発表	各チームの発表
4. 19:50-20:20 フィードバック	FIP 講師から各グループ発表に対してフィードバック。次のステップへの向けてのアクションプランへの落とし込みをする。
20:20-20:30 まとめ	今回のワークショップ参加に関する報告書作成

今回のワークショップでは、世界の薬学・薬剤師教育の傾向を踏まえつつ、日本の薬学・薬剤師教育の在り方を考えるよい機会になると期待されます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。